

KINJO MIND

KIND

Kinjo University 2017.03

No.24

在学生ピックアップ

後援会 活動報告

平成28年度 後援会 地域別説明会・個別相談会、
決算見込み及び経費執行経過報告、
後援会による主な教育・研究支援について

大学行事

卒業研究発表会、学生との意見交換会、
金城イルミネーション2016～Winter Blossom～点灯式、
平成28年度 金城大学 卒業証書・学位記授与式 及び 金城大学大学院 学位記授与式

トピックス

第11回 保健・医療・福祉創造フォーラム開催報告、
金城大学短期大学部開学40周年記念「地域連携イノベーション・フォーラム」

教育・研究活動報告

研究活動成果報告会開催報告、科学研究費助成事業採択状況

クラブ・同好会活動報告

平成28年度 卒業パーティー

平成29年度 大学行事案内

在学生ピックアップ

介護って面白い
諦めずに支援できる介護福祉士になりたい

■ 社会福祉学部 社会福祉学科 3年 前田千広

この大学に入った理由は、ただ漠然と「介護って面白いかな」と思ったからです。今ではその疑問は「面白い」との確信に変わり、将来は介護職の道に進もうと考えています。



変化したきっかけは、実習で出会ったある認知症の利用者さんに自分を覚えてもらえたことです。実習が始まってすぐのころは、その利用者さんに挨拶をしても「あんた誰け」「はじめまして」と返され、夕方にはもう忘れられていました。心が折れそうになりましたが、大学の講義で「認知症の人でも、何度も繰り返し覚えられる」と習ったことを思い出し、朝来た時と帰る時の挨拶を欠かさず続けました。するとある日、朝挨拶をしたら利用者さんは私を見て目を丸くし、「あんたどっかで見たー」と言いました。私は嬉しくて、毎日挨拶していい良かった、と思うと同時に、こういう変化が見られることが介護の面白さなのかもしれないと感じました。

将来は高齢者向けの施設で働き、どんなに難しいケースでも諦めずに続け、「生きていて良かった」「人生最期まで楽しかった」と思ってもらえるような支援ができる介護福祉士になりたいです。残りの1年間で、経験と知識を更に重ねていきたいと考えています。

努力することを忘れない理学療法士に

■ 医療健康学部 理学療法学科 3年 丹羽美味

私は、小学生の頃からバレーボールを続けてきました。大学では、バレーボールを続けながら理学療法への勉強をしていきたいと思い、金城大学に入学しました。入学して、一番感じたことは理学療法への勉強の大変さです。基礎的知識から評価・治療技術など覚えるものがとても多く、部活動を続けながらの勉強は想像以上に苦しいものでした。しかし、入学当初から部活動と勉強の両立を目標とし、3年間は文武両道を貫くと決めていたことにより、つまずきそうになりながらも踏ん張り、頑張ることが出来ました。また、辛いことがあった時に相談に乗ってくれる家族や友人、先生方の存在はとても大きなものでした。そのおかげで、部活動では3年間でギユブーでやり続けることができ、勉強ではこれまでの単位を全て取得することが出来ました。この3年間を通して、決めたことを最後までやり遂げることの素晴らしさ、努力は成功に繋がることを学びました。この学んだことは、これから始まる臨床実習や将来の職場で必ず活かしていけると自信を持って言えます。これからも、努力することを忘れず、素敵な理学療法士になれるよう日々精進していきたく思います。



学外実習で実感した看護師に必要なこと

■ 看護学部 看護学科 2年 細川 惇史

平成27年に看護学部が開設され、その1期生として入学しました。1年次には、看護の基礎となる知識や援助方法を学び、看護師になるための第一歩を歩み始めました。その後、2年次を迎え、より専門的な知識を得る機会が増えてきた分、学業面ではますます苦戦をしていましたが、同じ道を志す友人と協力して学力面・技術面ともに力をつけられてきていることを実感しています。



また、2年次後期(2月)には本格的な学外実習も始まり、初めて患者さんを受け持たせていただきました。コミュニケーションをとりながら、患者さんに見合った援助方法などを学び、自ら実践することができたと感じています。初めてのことはわかりでしたが、看護師の方々、また患者さんやご家族の優しさなどに助けられ充実した実習期間を過ごすことができました。この実習で実感したことは、看護師の仕事は患者さんの状況に応じて、自分が考える何十倍ものパターンを考えて行動しなくてはならない、それにはしっかりとした根拠があり、幅広い知識が裏付けられなくてはならない、ということでした。

まずは学内での学びをしっかりとして自分の力にしていき、その上で、さまざまな状況に応じて考えられるパターンを増やしていくこと、それはこれからの実践的な学外実習にも結び付いていくと感じています。2年後の国家試験合格を目指して、今まで以上に頑張っていきたい患者さんに対応できる看護師になりたいと思います。

後援会 活動報告

平成28年度 後援会 地域別説明会・個別相談会

平成28年12月10日(土)13時より、今年度も能登会場・福井会場・富山会場の全3会場にて、地域別説明会・個別相談会を実施しました。

能登会場は「七尾産業福祉センター」にて15人、福井会場は「福井県協ビル」にて16人、富山会場は「ホテルグランテラス富山」にて41人、合計72人の保護者の方にご参加いただき、各会場とも、修学や学生生活、就職や各種資格に関する数多くのご質問・ご意見をいただきました。



▼決算見込み及び経費執行経過報告(購入備品、寄付状況等について)

平成28年度 決算見込み 収入の部 (単位:円)	
会 費	17,250,000
利 息	351
前年度繰越金	738,551
合計	17,988,902

平成28年度 決算見込み 支出の部 (単位:円)	
学生活動支援費	4,998,808
就職・教育活動支援費	5,435,395
会員研修費	300,000
研究活動支援費	798,876
会 議 費	724,132
通 信 費	532,540
慶 弔 費	200,000
事務費負担金	500,000
広 報 費	899,600
雑 費	171,928
卒業記念品代	966,924
予 備 費	60,000
特別会計繰入金	1,000,000
合計	16,588,203

次年度繰越金	1,400,699
--------	-----------

▼後援会による主な教育・研究支援について

学生活動支援費

今年度は女子バレーボール部が天皇杯皇后杯全日本選手権大会ファイナルラウンドに初出場したので、その遠征費の一部にも補助しました。

就職・教育活動支援費

年間を通して、就職支援関係(専門職・一般企業及び接遇関係を含む)、国家試験支援関係、各種資格取得支援関係の対策講座を実施しており、例年、その経費の一部を補助しています。

研究活動支援費

4年生から提出された卒業論文・事例研究の要旨集について、平成29年1月に発行し、全学生に配付しました。

広報費

年2回、会報誌「KIND」を発行し、会員の皆様へ後援会の活動報告や学生生活の現況、大学の最新情報等を提供しています。また、ホームページも随時更新し、後援会事業内容等の報告を行っています。

卒業記念品代

ボールペンセット(パーカー)を購入し、平成29年3月18日(土)卒業式当日、卒業生(238人)に贈呈しました。

※その他、各費目の詳細につきましては、平成29年度後援会総会(平成29年6月10日(土)開催予定)資料にてご報告させていただきます。

大学の教育・研究活動報告

大学行事

卒業研究発表会

医療健康学部：平成28年10月8日
社会福祉学部：平成28年12月～29年2月

10月8日(土)に、金城大学医療健康学部卒業研究発表会が開催されました。今年度から作業療法学科も加わり、2学科合同開催となりました。学生は3年次よりゼミ教員の指導・支援を受けながら取り組んできた卒業研究の成果を発表する集大成としての発表会です。

学生たちは、パワーポイントを用いて、自分の研究成果について自分なりの言葉で説明し、質疑応答では発表で伝えきれなかった内容を相手にわかりやすく伝えるよう努力する様子も見られました。また、教員からの助言や在学生からの質問なども多く見られました。

発表会のあと、教員と学生の投票により、優秀発表者が選出されました。選ばれた学生は3月18日(土)、医療健康学部の卒業式にて学部長より表彰されました。

社会福祉学部は、12月から2月にかけて各ゼミで卒業研究発表会を行いました。



学生との意見交換会

平成28年10月11日・12日

今年度の学生との意見交換会は、平成28年10月11日(火)に3・4年生、12日(水)に1・2年生と学年別に行われました。3学部の学生と教職員が施設や行事、授業運営など様々な事柄に関して意見を交わしました。大学及び後援会では、貴重な意見を参考にによりよい教育環境を提供することができると努めていきたいと思います。

金城イルミネーション2016 「Winter Blossom」点灯式

平成28年12月16日

今年度も笠間キャンパス内の正面エントランスサークル



に、雪吊りをイメージした電飾が施され、平成28年12月16日(金)に点灯式が行われました。9回目となる今年のテーマは学友会からの提案で「Winter Blossom」に決定。一人ひとりが未来に向かって力強く花開いていくことを心から願ってつけられました。点灯式では本学学生によるミュージックベル演奏や金城大学附属西南幼稚園児によるクリスマスソングが披露され、賑やかな雰囲気になさんへクリスマスプレゼントを手渡ししました。

平成28年度金城大学卒業証書・学位記授与式 及び金城大学大学院学位記授与式

平成29年3月18日

平成29年3月18日(土)に平成28年度卒業証書・学位記授与式及び金城大学大学院学位記授与式が白山市松任文化会館にて挙行されました。社会福祉学部の卒業生150人、医療健康学部の卒業生88人、大学院リハビリテーション学研究科修士生4人が学び舎を後にし、社会に向けて新たな歩を踏み出しました。



式では、加藤真一理事長が告辞を、半谷静雄学長が式辞を述べました。続いて、祝辞が披露され、最後に、卒業生を代表して、富澤のどかさんが答辞を述べました。

同日、会場を金沢東急ホテルに移し、卒業パーティーが盛大に行われました。

※卒業パーティーの様子は裏面参照

トピックス

第11回保健・医療・福祉創造フォーラム 開催報告

平成28年11月19日

11月19日(土)に第11回保健・医療・福祉創造フォーラムが

本学にて開催され、保健・医療・福祉施設の職員、一般の方、学生など約200人が参加しました。大会テーマを「一人ひとりが輝く共生社会の創造」とし、眞鍋政義氏(フロンティアホール指導者)による講演「逆転発想の勝利学」組織マネジメント 女性を輝かせるテクニック」が行われました。



講演後にはシンポジウム「共生」と個性」これからの社会を支える人材の育成 人間教育の実践」が開かれ、専門家を招き、それぞれの立場における理念や実践方法・実績等が報告され、専門性の高い情報意見交換の場となりました。

金城大学短期大学部開学40周年記念 「地域連携イノベーションフォーラム」

平成29年3月3日

平成29年3月3日(金)、社会福祉学部棟大講義室において、併設の金城大学短期大学部の開学40周年記念事業「地域連携イノベーションフォーラム」が開催され、白山市長はじめ、教育界、企業、地域の方々約150人が参加し、「高等教育機関と地域連携をテーマにパネルディスカッションと参加者交流が行われました。

加藤真一金城学園理事長、金城大学短期大学部学長の開会挨拶に続き、山田憲昭白山市長から「産業と地域と学びの場が結びつくことが望まれる。いろいろな発想が広がり、この連携が糸口になるよう期待する」との挨拶がありました。パネルディスカッションでは、北陸先端科学技術大学院大学、金沢工業大学、金城大学、金城大学短期大学部、それぞれの機関が地域連携を重要視し、様々な取り組みを行っていること、また今後の課題等も示されました。



開催報告の詳細は、金城大学短期大学部ホームページにも掲載されていますのでご参照ください。

教育・研究活動報告

研究活動成果報告会開催報告

本学教員を対象に、学内競争的資金として交付される特別研究費・国外研究費に採択された研究活動について、10月22日～10月23日の期間で実施された活動成果報告会（ポスター発表）の発表者は次の通りです。



1 東知宏講師（看護学部）

「エアータオル使用時の使用者に対する飛散水による汚染状況」

2 伊藤愛助手（看護学部）

「生活シートを用いた小学生の水分摂取を促す支援」
「日本における新人看護師の看護実践能力向上に関するプロセス」

3 岡野大輔助教（社会福祉学部）

「『教育法規』教育における法教育の展開

4 神谷晃史講師（医療健康学部）

「若年健常者における開脚および片脚立位保持時の下肢アライメントの標準値と男女差」

5 烏山亜紀准教授（医療健康学部）

「軽度発達障害児のバランス能力と足部形状・足趾把持力との関連」

6 木村剛講師（社会福祉学部）

「筆記具の持ち方と書き動作の関係」

7 越納美和助手（看護学部）

「地域女性高齢者の役割意識の及ぼす影響」と保健・医療・福祉専門職の介入方法の検討」

8 小島聖講師（医療健康学部）

「拘縮予防を目的とした寒冷浴の効果」

9 境美砂子助教（看護学部）

「持続的他動運動が関節軟骨に及ぼす病理組織学的影響」
「フラット膝関節4週固定モデルによる検討」
「白山市の子育て支援の現状とその課題」
「全ての子どもが健やかに育つ環境を考える」

10 佐々木賢太郎准教授（医療健康学部）

「転倒要因としての固有感覚の検証」

11 澤俊二教授（医療健康学部）

「実業団女子ハンドボール選手の疲労における筋活動変化」
「慢性脳血管障害における総合的追跡調査——発病10年リハ——の同定および達成と未達成の推移」

12 田中克恵准教授（社会福祉学部）

「特別養護老人ホームの終末期ケアによって得た多様な成果——2施設のグループインタビューの分析より——」

13 永井将太准教授（医療健康学部）

「在宅脳卒中患者における地域での活動範囲に影響を及ぼす因子の検討」

14 野口雅弘講師（医療健康学部）

「血液透析患者における身体活動量・運動機能および動脈硬化指標の関連性の検討」

15 樋貝繁香教授（看護学部）

「卒後2年目看護師の看護実践への思い」
「周波数解析から捉えた早産児の泣きの特徴」

16 藤川君江講師（看護学部）

「被災地・離島・限界集落に生きる1人暮らし男性高齢者の精神的自立要因」

17 藤田三恵教授（看護学部）

「高齢慢性心不全患者の再入院に関する実態調査」

18 丸尾朝之講師（医療健康学部）

「成人健常者における運動イメージ能力と立位バランス学習の関係」

19 山本拓哉講師（医療健康学部）

「ヘルト速度変化が分離型トレッドミル歩行に及ぼす影響の運動学的分析」

（五十音順）

科学研究費助成事業採択状況

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会による科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する競争的研究費（助成制度）です。平成

28年度の採択交付者は次の通りです。

【金城大学】

1 川邊弘之教授（社会福祉学部）【研究代表者】

「視野障害学生のためのHMDシステムの研究——視線移動を考慮した健常者視野の提供——」

2 木林勉教授（医療健康学部）【研究代表者】

「大学生と高齢者が協同学修で開発する介護予防支援者養成教育プログラム」

3 越納美和助手（看護学部）【研究代表者】

「大学生と地域住民の多世代協働による『観光資源活用型健康増進プログラム』の開発」

4 佐々木賢太郎准教授（医療健康学部）【研究代表者】

「転倒要因としての固有感覚の検証」

5 下村有子教授（社会福祉学部）【研究代表者】

「夜盲などの光感受性が低下した学生のための暗視カメラを用いた支援システムの開発」

6 高山成子教授（看護学部）【研究代表者】

「血液透析を受ける認知症高齢者の主観的経験——標準的看護方法構築に向けて——」

7 永井将太准教授（医療健康学部）【研究代表者】

「理学療法士の実習における学生支援のためのeポートフォリオの開発と検証」

8 樋貝繁香教授（看護学部）【研究代表者】

「早産児の脳神経の発達促進を支える家族への睡眠教育プログラム」

9 彦聖美教授（看護学部）【研究代表者】

「男性介護職のソーシャルキャピタルの特徴を踏まえた健康支援のあり方に関する研究」

10 藤川君江講師（看護学部）【研究代表者】

「消滅危惧集落の1人暮らし男性高齢者を支える地域支援システムの構築」

（五十音順）

【金城大学短期大学部】

1 瀬戸就一教授（ビジネス実務学科）【研究代表者】

「360度カメラを用いた聴覚障害学生のアクティブラーニング参加支援システムの開発」

クラブ・同好会 活動報告

学生生活支援費から援助金を交付しているクラブ・同好会の活動報告については、以下の通りです。

女子卓球部

活動内容 私たちは全日本大学総合卓球選手権大会、全日本選手権大会、各種大会の上位を目指し日々の練習に取り組んでいます。試合を意識しながら集中力を高め、寮生活においても各自の役割を意識した生活をして目標達成に向けて頑張りたいと思います。

活動報告 (T:団体 W:ダブルス S:シングルス)
 百万石オープン卓球大会(T:ベスト16)、全日本大学総合卓球大会出場、春季北信越学生卓球選手権大会(T:2位 W:3位 S:ベスト8)、夏季北信越学生卓球選手権大会(T:優勝 W:優勝 S:優勝)、秋季北信越学生卓球選手権大会(T:優勝 W:優勝 S:優勝)



女子バレーボール部

活動内容 部員数:25人(大学4年6人、3年4人、2年5人、1年4人、短大2年4人、1年2人)
 私たちは「全員バレー」をモットーにチーム丸となり、切磋琢磨しながら日々練習に励み、全国優勝を目指して頑張りたいと思います。

活動報告 台湾ナショナルチームとの親善試合(8月27日)、北陸三県学生春季リーグ戦優勝(4季連続22回目)、春季北信越大学選手権大会準優勝、東日本大学選手権大会ベスト16、北陸三県学生秋季リーグ戦優勝(5季連続23回目)、秋季北信越大学選手権大会優勝(3季ぶり16回目)、天皇杯皇后杯全日本選手権大会北信越ブロックラウンド優勝、全日本大学選手権大会ベスト32、天皇杯皇后杯全日本選手権大会ファイナルラウンド初出場



男女バスケットボール部

活動内容 目標は男女とも上部昇格することです。練習は週3回で、内容はディフェンス、リバウンド、走ることを意識した

基礎練習、最後に試合形式の練習を行っています。経験を積むためにほかの大学や社会人との練習試合を行い、石川県内、白山市内の大会にも積極的に参加し、技術向上に努めています。

活動報告 第50回笹本杯争奪北信越大学バスケットボール春季リーグ戦

「男子」3部Bリーグ4位、「女子」3部Bリーグ1位、第50回北信越大学バスケットボール選手権大会兼インカレ予選「男子」予選トーナメント敗退、「女子」予選トーナメント敗退、第12回白山市バスケットボール選手権大会「女子」準優勝



ダンス部

活動内容 金城大学ダンス部です！私たちは毎週月曜日と金曜日に短大リズム室で練習しています。休日は主に地域のお祭りや福祉施設のイベントなどに出演しています。冬には卒業生も含めて、衣装・振付・脚本・舞台美術など全て自分たちで作り上げる公演を行っています。部員全員が家族のように仲良く、BBQやピクニック、ポワリングに合宿など楽しい行事も盛りだくさんです！

活動報告 ダンスイベントの直前である3月、9月、11月には練習のため、合宿を行いました。新入生歓迎会、石川県大学ダンス連盟(UP)公演、かなざわ学生フェスティバルショーケース、金城ダンス部自主公演など年間40回以上のダンスイベントに出演しました。



男子バレーボール部

活動内容 週5回の練習。目的は、心と体を鍛え、人として魅力ある生き方ができるような部活動を目指している。目標は、北信越1部リーグ優勝であり、インカレでも注目チームとなることである。

活動報告 春季北陸三県大会1部3位、春季北信越大学選手権大会1部5位、中部日本6人制総合選手権大会石川県予

選2回戦敗退、東日本バレーボール大学選手権大会1回戦敗退、天皇杯皇后杯石川県予選大会2回戦敗退、秋季北陸三県大会1部3位、秋季北信越大学選手権大会ベスト8、石川県6人制男女バレーボール交流会1回戦敗退、石川県ウインターリーグ参加



音楽部

活動内容 音楽部の活動内容は、毎日部室で自由に活動しています。主に、放課後や休日にバンドメンバーで集まり練習を行っています。ライブ活動は夏と冬、卒業シーズンに1回ずつライブハウスでの定期ライブを開催しています。その他にも、新歓や他大学との合同企画、金城祭、学外などでも活動しています。部員のほとんどが大学から楽器を始めた部員ばかりなので、初心者でも気軽に楽しく活動できます。部員はみんなとても仲良く楽しく活動しています。

活動報告 新歓ライブ、ロータリーライブ、夏ライブ、石川県立大学合同企画ライブ、部室ライブ、冬ライブ、卒業ライブなど行っています。その他、学外でも活動しています。



硬式野球部

活動内容 北陸大学野球2部リーグを制覇するために、夏休みと春休みについては、毎週火曜、土曜、授業期間中は、毎週土曜に練習しています。春季リーグ戦、秋季リーグ戦、新人戦でつても多く勝利を収めるようチーム丸となって活動しています。

活動報告 平成28年度北陸大学野球春季リーグ戦7位、北陸大学野球新人戦1回戦敗退、平成28年度2部北陸大学野球秋季リーグ戦5位でした。全員がなかなか集まって活動ができない中で、長期休暇中に他大学とのオープン戦を行い、野球を通じて学生間の交流を図っています。



VORABO

活動内容 実際に被災地へ行き、災害ボランティアを主にしています。頻度は1年に1回で、このボランティアを通して机上では学べない被災地の状況や、現地の人たちの思いを直に感じ、私たちがいる石川県でもできることはないか考えていけるように取り組んでいます。



活動報告 5月に短期大学部と協力して、笠間キャンパスと松任キャンパスで3日間かけて熊本地震災害募金、缶バッジ制作を行いました。5月から毎月第2火曜日に学生への災害ボランティア保険の加入手続きを行いました。8、9月に東日本大震災復興支援ボランティアを行い、10月に赤い羽根共同募金団体と協力し白山市各地に分かれ、赤い羽根共同募金を呼びかけました。

釣り同好会

活動内容 活動は、医療健康学部・看護学部・社会福祉学部の学生(部員数24人)および顧問教員が参加し、原則月に1回程度、火曜日または木曜日の昼休みにミーティング等を行い、休日等には県内外のフィールド(海)で実釣しました。また、金城祭では天然アユの塩焼きをメインに出店しました。



クレイル

活動内容 クレイルは、スキー・スノーボード・スケートなどのウィンタースポーツを楽しく行っているサークルです。冬には、数名で県内のスキー場に何回も行ったりしており、オフ

シーズンも充実した楽しい行事を行っています！冬の活動がメインなので他のサークルと掛け持ちしている先輩もいます。昨年度は、初心者の方も多く入ったので迷っている方は気軽に始めてみてください。初心者の人学生生活を積極的に楽しみたい人大歓迎です！



活動報告 シーズン中には県内のセイモアスキー場に行きました。9月には1泊2日のコテージでの夏合宿、2月には長野県の白馬47スキー場、白馬八方尾根スキー場で1泊2日の冬合宿、その他に各月でイベントを行いました。

KSC

活動内容 毎週火曜日木曜日は17時~20時、土曜日は9時~12時の間、それぞれ日光アリーナステージ上で練習を行っています。練習は基本的なことを行い、楽しいこともかなりします。先輩後輩関係なく、とても仲良く練習をしていますので気兼ねなく参加しにきてください。



活動報告 金沢市大会：白帯組演武3位・有段組演武1位、北陸学生大会：白帯単独演武3位・有段単独演武1位・有段組演武1位・立会評価法3位、全日本学生大会：二段以上の部予選9位

吹奏楽同好会

活動内容 週に2日間、活動しています。主に、クラシックやPOPS、その年に流行った曲などを演奏しています。次年度は部員をたくさん集めてコンクール出場や金城祭、新入生歓迎会などを目標により楽しい同好会にしていきたいです。



活動報告 今年度は、金城祭ステージ企画である「なんでもチャランピオン〜有志ステージ〜」にて演奏をさせていただきました。また、1月28日開催のミュージックフェスティバルに出演しました。

しゅわっち

活動内容 去年から活動を始めました、手話サークルです。現在看護学部12人で構成されています。できたばかりのサークルで、ゆるく楽しくをモットーに、手話の学習に取り組んでいます。



活動報告 1年間の活動の成果指標として、手話検定試験にも取り組み、去年は検定の合格率は100パーセントでした。月2回ほど看護学部棟を中心に集まります。これからもうと、聴覚障がい者の方とも触れ合っている企画も考えています。手話の学習を通じて障がい者の方を考えた、自分の幅を広げるチャンスになると思います。初心者の方、他学部の方、大歓迎です！

WATERMAN

活動内容 主に松任総合運動公園プールにて平日の放課後に活動しています。全国学生選手権において入賞することを目標に日々練習しています。県や北信越合宿にも参加しました。4月ごろに懇親会などもする予定です。夏には海へ行ったり、プールへ行ったり、メンバーみんなで楽しく活動しています。



活動報告 関西選手権8位入賞、全国学生選手権8位、日本選手権出場

マラソンサークル

活動内容 マラソンサークルは月曜日と火曜日の週2日練習を行い、フルマラソンやハーフマラソン、リレーマラソンなどに参加しています。完走を果たすことで何物にも代えがたい達成感が得られるだけでなく、自信にもなります。マラソンで得られるものが日常生活の場面で活かされるよう日々頑張っています。

活動内容 今年はマラソンサークルができたばかりでしたが、9月に白山白川郷ウルトラマラソン大会に参加し、参加メンバーは無事完走を果たしました。今後も様々な大会に参加していきたいと思えます。



平成29年
3月18日

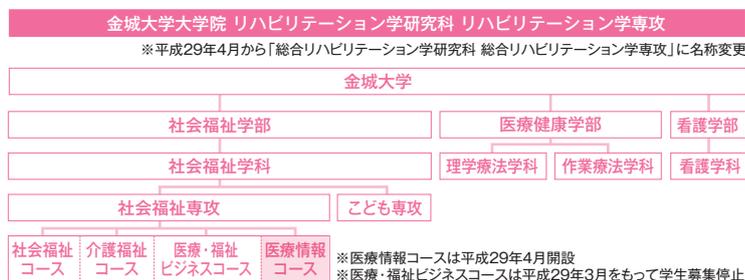
平成28年度 卒業パーティー



▶平成29年度 大学行事案内

- 平成29年度 入学式：平成29年 4月 1日(土)
- 平成29年度 新入生歓迎会：平成29年 4月 8日(土)
- 平成29年度 新入生研修：平成29年 4月15日(土)
- 平成29年度 後援会総会：平成29年 6月10日(土)
- 第42回 金城祭：平成29年10月21日(土)・22日(日)
- 平成29年度 地域別説明会：平成29年12月 9日(土) (予定)

▶平成28年度 金城大学 学部・学科構成 一覧



子ども福祉学科で目指す

トリプル ライセンス!

- *保育士
- *幼稚園教諭
- *社会福祉士



保育を学ぶなら金城大学!!

入学定員
70人

New! 子ども福祉学科

平成30(2018)年4月開設予定 (設置構想中、教職課程認定申請中)

※上記学科名称及び入学定員は予定であり、変更があり得ます。また、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

主な取得可能資格：保育士、幼稚園教諭1種免許、社会福祉士受験資格など※1

「福祉の学び」を深めることで、保育園、幼稚園、認定こども園※2、児童養護施設、乳児院、障がい児の施設、放課後等デイサービスなど「子どもに関わる様々な職場」での活躍が可能に!

※1 現在、社会福祉学部社会福祉学科こども専攻で取得可能な資格は、引き続き取得可能となる予定です。
※2 幼保連携型認定こども園で働く保育教諭には、保育士資格、幼稚園教諭免許の両方の資格が必要です。

子ども福祉学科における多様な学びを深めることにより、子どもに関連する幅広い分野のエキスパートを目指します。



保育(養護+教育)、発達支援など子どもと直接かかわる分野に加え、家庭・子育て支援、子どもに関する相談援助など、子どもに関連する幅広い分野のエキスパートを目指せる学びがあります。

社会福祉学科 こども専攻 就職率

平成27年度(第6期生)

100% ▶就職者57人
▶就職希望者57人

全卒業生(第1~6期生)

99% ▶就職者296人
▶就職希望者299人

大学案内・入学試験に関するお問い合わせ

入試広報部	フリーダイヤル 0120-276-150	TEL 076-276-5175 (直通)	FAX 076-275-4316	E-mail nyushi@kinjo.ac.jp
-------	-------------------------	--------------------------	---------------------	------------------------------

KIND

金城大学後援会 会報誌【KIND】第24号 平成29年3月31日発行 編集兼発行：金城大学後援会 事務局
 (学)金城学園理事長 加藤真一・金城大学学長 半谷静雄・後援会会長 高松喜与志(高松機械工業株式会社 代表取締役社長)
 〈笠間キャンパス〉石川県白山市笠間町1200 TEL 076-276-4400 FAX 076-275-4316 〈URL〉http://www.kinjo.ac.jp/ku/kouenkai/
 〈松任キャンパス〉石川県白山市倉光1丁目250 TEL 076-276-6630 FAX 076-275-6651 〈E-mail〉u-koenkai@kinjo.ac.jp